

「魔除け」

— 2 稿 —

2023/1/27

米俵

〈人物表〉

小林 光輝	(12)	小学6年生
小林 久美	(35)	光輝の母親・主婦
小林 孝雄	(48)	光輝の父親・会社員

〈ログライン〉

光輝が、計画していたことを実行する話。

〈作者の狙い〉

主人公が暴力に染まっていく様子

1 小林家・リビング(夕)

一軒家のリビング。白で統一された高級家具が置いてあり、棚の上には白いだるまが置かれている。

小林光輝(12)、ダイニングテーブルで勉強している。

テーブルの上には、中学受験用の教材が重ねて置いてある。

光輝の前に小林久美(35)が笑顔で頬杖をついて座っている。

久美、甘えた声で、

久美「光ちゃん、夕ご飯は何がいい？」

光輝「……何でもいい」

光輝、問題を見たまま答える。

久美「じゃあ、光ちゃんの好きな唐揚げにしようかな」

光輝「……」

久美「ママが見てなくても、ちゃんと勉強しててね」

久美、キッチンへ向かう。

光輝、鉛筆を強く握る。

2 小林家・玄関(夜)

小林孝雄(41)、玄関のドアを開けて黙ったまま入ってくる。

久美、笑顔で駆け寄って、

久美「おかえりなさい」

久美、孝雄のカバンを受け取り、靴をそろえる。

孝雄、スーツを脱ぎ、久美に渡しながら、

孝雄「光輝は何してる」

久美「算数の問題がまだ終わらなくて……」

孝雄「またか」

孝雄、久美の髪を掴み上げて、

孝雄「お前はちゃんと教えてるのか？」

久美、痛みで顔をゆがめ、髪を押さえる。

孝雄「明日は、俺が見るからいい」

孝雄、久美を壁に叩きつけ、風呂場へ入っていく。
久美、壁に寄りかかって、笑顔になる。

3

小林家・リビング（夜）

光輝、ダイニングテーブルで勉強中。解き終わった問題集を向かい側に置く。孝雄、その横で夕ご飯を食べている。

孝雄「おい、いつになったら終わるんだ」

光輝、手を止め、問題集を見たまま、

光輝「あと……」

孝雄、遮るように、

孝雄「光輝、俺が出した課題は多すぎるか？」

光輝「……そんなことはありません。合格したいなら、これ

ぐらいは普通だと思います」

孝雄「そうだよな。お前が無能で遅いだけだよな」

光輝「すみません、お父さん。すぐに終わらせませす」

孝雄、音を出してみそ汁をすすす。

久美、背後から光輝に抱きつき、光輝の耳元で

久美「光ちゃん、光ちゃんが早く終わらせてくれないと、

ママがパパに怒られちゃうんだよ？」

光輝、黙ったまま勉強を続ける。

4

小林家・光輝の部屋（夜）

鞆、ヘッドホン、ベッドだけが置いてある部屋。机はない。壁には、合格と書かれたポスター。ポスターには無数の小さな穴が開いている。

光輝、ベッドで横になっている。

1階から物が倒れる音、怒鳴り声などが聞こえてくる。

光輝、ヘッドホンをしてから、鞆からシャープペンを数本取り出す。

ダーツを投げるように合格のポスターに向かって線

り返し投げる。

シャープペンは、ほぼ同じ場所に当たって落ちる。

× × ×

光輝、ベッドで眠っている。

暗闇の中、部屋のドアが開き、30cm 定規を持った

久美が入ってくる。

光輝の布団をはいで、服をまくる。定規で背中を強く叩きながら、

久美「光ちゃん、光ちゃんのせいでママ怒られたよ。どう

していつもママを困らせるの」

光輝、痛さに耐える。

久美「これはママからの愛の鞭だからね。光ちゃんが言うことを守れるように躾ないといけないの」

久美、笑顔で光輝を叩き続ける。

叩く音が暗闇の中で響く。

5

小林家・リビング（昼）

光輝、ダイニングテーブルで勉強をしている。

孝雄、隣に座り、光輝の勉強をみている。

久美、昼食を作っている。

孝雄、突然光輝の手を叩き、強い口調で、

孝雄「おい、さつきと同じミスしてるぞ」

光輝「ごめんなさい」

光輝、急いで消す。強く消しすぎて紙が破れる。

光輝、貧乏ゆすりを始める。

孝雄「それやめろって」

孝雄、光輝の足を叩く。

光輝、鉛筆を強く握る。

光輝「お父さん、トイレに行ってきたでもいいですか？」

孝雄「は？ 何回目だ？」

光輝、答えず下を向く。

孝雄「お前、朝からトイレ時間だけで30分は使ってるぞ。

そんなに溜まってんのか？」

孝雄、光輝のお腹をぐりぐりと押す。
光輝、下を向いたまま耐える。

孝雄「あつ、そうだ。お前、もうオムツつけろ」

光輝、驚いて孝雄の顔を見る。

孝雄、台所にいる久美に声をかける。

孝雄「おい、急いでオムツ買って来い」

久美、嬉しそうな声で、

久美「えっ、光ちゃんがオムツ？」

久美、光輝を見る。

孝雄、光輝の背中を叩いて、

孝雄「オムツぐらい、大したことないよな、光輝」

光輝、下を向いたまま答えない。

×
×
×